

上越だより

■平成30年度(第14回)大学対抗親善ゴルフ大会結果報告

S53年工学部応用化学科卒 吉田 実

昨年10月14日(日)さわやかな秋空の下、妙高サンシャインゴルフ倶楽部を会場に大学対抗親善ゴルフ大会に2チーム参加してきました。上越から高島さんと杉澤さん、市川さんの3名で東洋大学Aチームを組み、小生と長岡から参加された木村副支部長と高坂さん、西脇さんで東洋大学Bチームを組みました。

団体戦の結果は15チーム中Aチームが13位、Bチームは14位でブービー賞として「敢闘賞」をいただきました。



左から木村副支部長、筆者、西脇さん、杉澤さん、高坂さん、市川さん、高島さん

個人戦は杉澤洋子さんがレディス部門で見事優勝されました。また個人総合成績でも52名中3位となり東洋大学の個人成績で過去最高位となりました。

男性では西脇さんが9位に入賞されました。また木村副支部長がブービーメーカー賞をいただきました。グロスでは初参加の市川晃さんが89と好成績でした。アトラクションではアウトの2番ホールで小生がニアピン賞を獲得しました。

それから14日の表彰式後、(長岡の皆さんはこれから帰るのが大変なので)小生と長岡の皆さんの4名で妙高池の平のホテル「アルペンブリック」に宿泊し、源泉掛け流しの露天風呂に入り、隣接する地ビール工場レストラン「タトラ館」で地ビール飲み放題の夕食をいただきました。翌日は妙高の高原トマトをお土産に買って帰りました。

今年の開催日は10月20日(日)です。会場はいつもの妙高サンシャインです。今年は更に多くの校友から参加していただき楽しいゴルフが出来ればと思います。

世代を超え同窓の絆 東洋大学校友会新潟県支部総会

東洋大学校友会新潟県支部(斎藤 淳支部長)の平成30年度総会が上越市中央1のホテルハイマートで開かれた。校友と来賓31人が世代を超えて出席し同窓の絆を深めた。

総会は年1回長岡、新潟、上越3市の持ち回りで行われ、3年ぶりに上越で実施。

席上、小島正弘・副支部長が歓迎の挨拶を述べた。斎藤支部長は志願者数が全国私立大学で5位という母校の躍進、陸上競技、野球、水泳などスポーツ各部の好成績、大相撲・御嶽海関(OB)の幕内優勝やボクシング村田諒太選手(OB)の世界王座奪取など東洋大学出身者の活躍を喜んだ。一方で校友会活動の維持発展への課題を示し、将来の改革に向けて協力を求めた。

議事は平成29年度会務・会計報告、同30年度事業計画予算を承認し次期支部長に木村国夫副支部長(長岡市)を選出した。



吉田実氏(S.53.工学部卒)代表の「自然環境見守り隊」が「環境大臣表彰」を受章

令和元年7月15日の上越タイムスにそのことが掲載されました。

主に小学校4年生の総合学習で川の観察活動のサポートをしている地道な活動が評価されました。

自然環境見守り隊 環境大臣表彰を受賞

上越市

川を観察サポート

エコライフ教育推進

「内容や活動広げたい」吉田実

中越だより

第6回箱根駅伝祝勝会兼新年会次第

S45年経済学部経済学科卒 木村 國夫

【参加者24名】

- 箱根駅伝結果報告。山古志合宿中越地区金額発表
- 井上円了博士没後100年記念講演会の計画発表
- 第4回大学野球サマーリーグについて
- 新体制について
乾杯 近藤 和義氏
懇親会
大学歌斉唱
締め 星野 修美氏
- 中越地区令和元年の事業計画
1. 長岡米百俵祭 10月6日
2. 第7回箱根駅伝祝勝会 令和2年



東京50年今昔物語

S45年社会学部福祉専攻卒

近藤 和義

卒後50年振り返ってみると人生あつという間の出来事である。

退職後縁あって短期間ではあったが東京港区新橋に拠点高齢者福祉施設を置く法人にお世話になり、サテライト施設である中央区月島、日本橋小伝馬町の事業にも参画させて貰うことが出来た。

歴史好きにとっては垂涎のエリアである。

例えば、ほぼ日赤本社前に位置する拠点施設は元小学校跡地であり、時代を遡れば江戸幕府剣術指南役柳生宗矩の上方屋敷、小伝馬町の施設も小学校跡地で、現在中央区の複合施設となっており、その地下は吉田松陰終焉の地となった牢屋敷跡であった。

因みに月島の複合施設は裏通りが80軒も連なるモンジャストリート、隣接する佃島は佃煮発祥の地、江戸開府時徳川家康が命の恩人として大阪佃の漁師を招き、与えられた島でもある。この機会とばかり休日には、半世紀ぶりに学生時代の下宿探訪に出かけてみた。

最初の住まいは常磐線綾瀬駅から徒歩10分程の所であり、途中綾瀬川というドブ川を息を止めて渡りきり左手に小菅刑務所（現東京拘置所）の高くそびえる塀を見上げながら右折し、藁葺き屋根の見える先であった。

6畳一間の下宿先で御家族が温かく、何とか2年間過ごすことが出来た。今では河川改修で川底が見える程となり、刑務所も近くに移りゴーン氏も住む立派な高層建築となっていた。

その後、少しは都会の生活がしたく探したのが豊島区千早町、佐渡出身の方が家主で木造2階建、4.5畳、ガス台、トイレ共同、近くに銭湯有りの好条件？な千早荘であった。地下鉄要町駅で下車し、昔の勤に頼り探してみると当時のアパートは建て替えられてはいたが、門柱は当時のままであり、勘ナビは感度良好であった。

後々判明したことはあったが当時の下車駅は西武池袋線椎名町駅であり、反対側には漫画の聖地トキワ荘。が現存しており、手塚治虫、藤子不二雄、石の森章太郎そして赤塚不二夫など錚々たるメンバーが勉強していたのだと思うとシケモクなど吸っておらず、散歩でもしていたら、ひょっとして新潟生まれの天才バカボン。に遭遇できたかも知れない。

鶯の絡まる一号館を目指して都営三田線御成門から7駅目、白山で下車、案内板に従って歩いてみるが一向にデジャヴ現象。なるものが起きて来ない。

そうこうするうちに眼前に巨大な建造物が現われ、少し中に入ってみるが飽くまで未知なる空間であり、とても日本一の学生食堂があると言われている6号館には気後れして足が向かず、徒歩で慣れ親しんだ巣鴨とげぬき地蔵商店街へ行くことと相成った。

この50年間唯一変わらなかったことと言えば学生時代ゼミも一緒だった成田仁君であった。

上京して間もない、何も知らない田舎者を今では高齢者の原宿とも言われる巣鴨地蔵通りや、都電で神田神保町の古本屋街までよく連れて行ってくれたものだ。

彼は細身で敬虔なクリスチャンではあったが、めっぽう酒も強く、酔う程に大先輩でもある植木等のスーダラ節。が始まり、上手かった。またカメラはプロ級で埼玉加須市から毎日通っていた。

今回限られた時ではあったが上京後、早速新橋、上野、池袋そして新潟に帰る時にも改めて新橋のガード下の居酒屋で本職であった児童相談の実態を相変わらず熱く語り、風邪気味ではあったが終電まで付き合ってくれた。

ところがその2ヶ月後、何ら変わらないと思っていた男の訃報を聞くこととなってしまった。

今にして思えば何で「延命地蔵」とも呼ばれている巣鴨とげぬき地蔵商店街で飲まなかったのかと悔やまれるが、彼は恐らく次回の為に大切に取っておいてくれたのだと今は思っている。

下越だより

下越地区懇親会が開催されました

平成30年11月3日、新潟駅南の魚沼釜蔵において、白山会兼下越地区懇親会が開催されました。参加者は15名と少なめでしたが、恒例の阿部事務局長のクラリネット演奏や東洋大学グッズ争奪じゃんけん大会で初参加の方もすぐに和み、和気あいあいとしたなかで進み、最後は坂田さんのカッタカッタ東洋、大学歌を斉唱し、次回の再会を約束しあい解散となりました。



第31回 安吾忌が開催されました

恒例の安吾忌が平成31年2月17日、安吾忌としてはめずらしく、暖かな中でおこなわれました。不思議な事に墓参が始まると急に天候が荒れだし安吾先輩の「安吾忌はそう簡単に穏やかなうちには終わらせないぞ」という天からの声が有ったように思えました。

坂口家墓参あと、新潟安吾の回の斎藤会長の主導で出席者全員の挨拶があり無事終了しました。下越地区からは、本間副支部長、大橋健一郎氏の2名が参加しました。



▲安吾忌当日の坂口家墓所

下越の校友2名が相次いで新潟日報に登場

平成30年9月1日 14面 新藤 幸生氏

約200年前に獅子踊りが新潟市秋葉区小戸下組に伝わった際の古文書などを解説。五穀豊穡と家内安全を願う地域に欠かせない舞の伝承に一役買いたいと考え1冊の本にまとめた。(日報記事より)



二人とも地域密着した活動が取り上げられており同じような活動をしている校友の励みになります。

令和元年6月27日 12面 皆木 邦夫氏

戦時中に町内会へ配給された食糧などに関する資料などの綴りを見つけ論文にまとめた。(日報記事より)

戦時下の暮らしリアル

新発田 町内会への配給資料見つかる



山古志合宿激励の報告



▲三太夫にて佐藤コーチ(左)に激励金を渡す本間副支部長(右)

平成30年9月2日に陸上競技部の山古志合宿に本間副支部長と阿部事務局長が激励に行ってきました。当日は偶然にも長島前理事長の1周忌もおこなわれておりお参りもしてまいりました。

平成30年度は寄付人数150名金額311,500円でした。大変有難うございました。

校歌

作詞 林 古溪

作曲 山田 耕筈

亜細亜の魂再び此処に
目覚めしよろこび溢れつ人に
雄々しく掲げたり^{とき}関の声
東洋大学生れぬかくて

亜細亜の天地暁明けて
仁義と慈悲との誠の光
今こそ輝け西の海
東洋大学務は重し

事務局より

◎校友会費納入についてお願い

支部活動は校友会費納入による、支部還元金によって運営されております。納入頂いた方には、校友会本部から「東洋大学校友会報」が年3回送付されます。この雨水も還元金によって多くの方々の手をわずらわし、発行させていただいております。

年会費 3,000円

終身会費(1回完了) 50,000円

郵便振替 口座番号 00150-0-91833

加入者名 東洋大学校友会

◎雨水では、校友からの作品(絵画、書道、俳句、短歌、挿絵、生け花、盆栽等)を募集しております。

自薦、他薦いずれでも結構です。又、校友の動静がわかりましたら、ご連絡おねがいします。

(連絡先 各役員)

平成31年度 東洋大学校友会新潟県支部役員名簿

役職	氏名	卒年学科	所在地
顧問	安藤 良顕	S43 工学	長岡市
顧問	植木 宏	S31 文学	上越市
顧問	斎藤 淳	S53 法律	五泉市
支部長(代議員)	木村 国夫	S45 経済	長岡市
副支部長(代議員)	佐田 雅彦	S49 商	長岡市
副支部長	小島 正弘	S39 経済	上越市
副支部長(代議員)	本間 直彦	S50 英米文	新潟市
事務局 長	高坂 寛二	S57 法律	長岡市
会計部 長	西脇 晃	S49 経営	長岡市
監事	原 薫	S54 土木工	長岡市
監事	津田 進	S41 応社	長岡市
会報部 長	石塚 徹	S42 建築	長岡市
下越地区事務局長	阿部 吉弘	S55 経営	五泉市
中越地区事務局長	高坂 寛二	S57 法律	長岡市
上越地区事務局長(代議員)	石田 秀男	S41 経済	上越市
レディスクラブ事務局長(代議員)	高崎 弘子	S52 経法	長岡市
レディスクラブ	大河内 邦子	S54 院文学	新潟市

会員動静

(敬称略)

■お悔やみ申し上げます

渡邊 正吾 (S34年文学部)

編集後記

今年は異常な猛暑でしたが、無事お越しのことと思います。

元号が令和に変わって初めての「雨水」第35号をお送りすることができ、感謝いたします。

前号同様に決算・予算、レディースクラブ及び各地区の報告等を載せました。各地区の報告では、地道に長い間、地域活動に貢献された校友が、新聞誌上に取り上げられたことを掲載させていただきました。

厳しい予算の中ですが、皆様のためになるより良い会報作成のために、色々な面で活躍されている校友の情報や、ご意見、ご要望、また皆様の近況など、各地区の役員にお知らせ願います。

S42年工学部建築科卒 石塚 徹